

小金井市下水道総合計画（案）に対する意見及び検討結果について

意見募集期間：令和4年12月9日から令和5年1月13日まで

意見提出数：2人・5件

番号	項目	寄せられた意見	意見に対する検討結果
1	全般	上下水道は、民営化せず、公営で守ってほしいです。	近年、全国的な情勢として、下水道事業の持続性の確保及び公共サービスの品質向上を期待する方法の1つとして、民間活力の活用が検討されています。 当市ではこれまでと同様に、公営主体で下水道事業を推進してまいります。下水道サービスの品質維持、コスト面等でメリットが大きい場合は、状況に応じて下水道事業の一部で民間活力を活用することも考える必要があります。 したがって、今後、包括的民間委託及び多様な民間活用手法に対して導入による有効性及び実現性の検討を行っていく予定です。また、広域化・共同化と合わせた民間活力の活用も含めた検討を行うことも必要と考えられます。
2	全般	新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス等の病原体の下水サーベイランスは、今後の感染症の流行防止対策上、重要な指標となると思われます。 東京都や国に、東京でも下水サーベイランスを実施するように、働きかけてほしいです。	下水サーベイランスについては現在、内閣府等で実証実験が行われており、有効性及び活用方法について検討が行われています。 これらの結果などを踏まえて、今後の推移を見守っていく予定です。
3	13ページ「分流式と合流式の解説図」について等	「分流式」では、雨水が野川に流されること、道路側溝への汚水流入やゴミ・汚物の投棄は野川の汚染につながるなど、もっと市民への周知をはかるべきだと思います。（自身も、ある議員のSNS上で、分流式の紹介を見て、初めて知りました。） 分流式の地域内で、「道路側溝グレーチングの上で、散歩中の犬に排泄させる飼い主」を目撃したことがあります。近隣の道路側溝グレーチング周辺には、タバコの吸い殻が落ちていることがよくあり、相当数の吸い殻が、側溝に落とされていると思われます。愛犬家・愛煙家の殆どの方は、路上のマナーを守っておられるとは思いますが、側溝にゴミや汚物を落とさないよう、呼びかけをお願いしたいです。 また、自家用車の洗車の際には、道路側溝に水を流すしかないケースもあるだろうと思います。野川の水質への影響は見られるのかどうか知りたいです。もし、なんらかの影響が出ているのならば、市としては、どのような対策・市民への協力要請が考えられるか教えてほしいです。地域のガソリンスタンドやディーラー・自動車整備業者等と連携しての何らかの情報提供や、環境への負荷が少ない洗剤の選び方・洗い方などの周知があってもよいのでは、と思います。	本市でも、一部区域においては分流式を採用しており、ゴミ等の廃棄による河川などの自然環境及び街なかの生活環境への影響が懸念されます。 関係部署と連携しながら、各種の広報手法を活用して呼び掛けを行うなど、引き続き啓発等に努めてまいります。
4	18ページ「マンホールトイレ」について	マンホールトイレの設置は、学校のプールの水を使用する前提で計画されている、とどこかで聞きました。公共施設設備も、上下水道と、同様の・関連したインフラの一部として、長期的な視点で、防災面の機能もちゃんと含めて、整備していただきたいです。	マンホールトイレについては、本市の地域防災計画に基づき、設置を進めています。学校のプール等で確保した水の使用により水洗機能を確保し、被災時のトイレ環境の確保を目指すものです。 今後の管理及び運用方法については、関係部署等との連携も含めて検討を進めてまいります。

5	13ページから14ページ	<p>全体としては 広域的な視点も持って 適正にやっっていくしかないのではないかと思います。</p> <p>その中で(p13-14)、東京オリンピックで問題になったトライアスロンコースの水質問題を見る時に 合流方式による汚染をきちんとみて行く必要はあると思います。放流回数は減った(45回→19回)とはいえ、それで 結果 小金井市からどれだけの汚水が流されたのか、は気になるところですし、少しずつは流れている、の結果が オリンピック時の水質であるわけなのでできる調査はすること、都や水域の他自治体にも 呼びかけをしていく必要があるのではないかと考えます。</p> <p>また、近年の問題として コロナ感染症、井戸水のPFAS汚染、いわゆる香害といった新しい問題への対応も考える必要があると思います。</p> <p>香害に関しては、実際の中身は 洗剤や柔軟剤に含まれる石油由来成分、化学物質によっては毒性が指摘されているものの少量であるから安全と言われますが 排水されて集合した場合どうなのか、また マイクロカプセルはマイクロプラスチックでもあり 明らかに環境汚染です。すでに 人の血液中、母乳、肺から検出された研究結果もあり、河口のヤマトシジミからも検出されています。香りという 万人には必要度が低い嗜好品であるべきものでありながら 一方で人への影響(年々強くなる香りに化学物質過敏症の人は増えていると考えられます)や環境汚染は深刻であると考えられます。下水を調査する術が必要だと思います。河川が洗剤・柔軟剤の匂いがする、上水でさえ匂う、という話も出ています。野川や玉川上水で柔軟剤の匂いがするのは避けたい。(集合住宅だと 他所のお宅の入浴剤やシャンプーといったお風呂からの排水と洗濯排水でも キッチンが結構匂います。これらの成分は下水処理をしても取り除けないらしい、とも聞きます。こんな状態では大丈夫ではないだろう、と思います)</p> <p>コロナ感染症だと 下水サーベイランス(下水疫学調査)という 感染状況の指標になる調査がありますね。そして、PFASもどれくらい湧水や川に流れ込んでいるのかも気になります。</p> <p>こういった新しい問題に対する、新たな検査・調査もできる体制、というのが 今後 求められると思います。職員さんにつきましては 小金井市 水質のプロ、となっただけの事を期待します。</p> <p>(PFASについて調べている時に思いましたが、市民が報道で見るより先に知っておいてほしい、そこまでは無理でも 小金井市、近隣市の水の情報には敏感であってほしい、市民から問い合わせがある頃には それは調べています、だと 頼もしいな、任せられるな、と思います。上水は薄まっていて基準値だからよし、ではなく 下水ではどれくらいになっているのか、下流の自治体への影響はどうか、まで考えられたら、調べられたら、やはり 多方面での広域の連携が必要になってくるのではないかととも思います)</p>	<p>新たな課題への対応や、検査・調査方法及び対策のための新技術活用について、東京都や近隣自治体・関係機関と情報共有を行い、連携を図りながら取り組んでまいります。</p>
---	--------------	---	---

※提出された意見は、原則として全文を掲載しています。